

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成25年7月16日（火）

午後 1時30分 開会

午後 1時57分 閉会

場所 : 全員協議会室

〔報告案件の補足説明〕

1 半田赤レンガ建物整備基本設計のパブリックコメントについて

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

石川英之委員：新庁舎を赤レンガの場所へといった時に、交通の便が云々と、渋滞を起こしたりを非常に強く言われて、だからここでは無理ということだったので、今回、当初の活用にしても将来計画にしても、一方向しか車の出入りが出来ないような計画で本当にここが知多半島全体のランドマークとして、観光拠点に成り得るのかどうか。

堀寄敬雄企画部長：駐車場の面積をどれだけとるか、という議論の中でもありましたが、どのくらい来ていただけるかという事が、正直言って今の段階ではなかなか把握しづらいと思っています。ここでお示した当初の活用案の駐車場の面積というのは、現在の駐車場面積とほぼ同等の面積を確保しております。更にこれで足りなくなるようでしたら、例えば、ハウジングの従業員の方ですとか、赤レンガ建物に勤められる指定管理者の駐車場というのは、この外に整備するような事をしなければいけないと思っておりますが、当面、状況がしっかりわかるまで、この形で進めてまいりたいと思っております。

石川英之議員：駐車場の心配など全くしていません。進入路の話です。せめて将来計画の方では、道がここで確定をする訳ですから、当初の活用は仕方ないです。でも将来計画では、分離帯破って信号付けて三河方面から来てもすぐ右折で入れるような、これバス嫌がりますよ。半田の混む街中通って西から来なければ行けないなんて話は、絶対的に計画が間違っている気がします、いかがお考えですか。

堀寄敬雄企画部長：まず、信号設置につきましては、これまでも何度も警察と協議をしてきていますが、西から坂が下りになっていることと次の信号に距離が近いことで、信号設置は不可能だと考えております。そういう意味では進入路は、こちら側からの一方通行の進入路にならざるをえない。将来の中では、半田中学校側、北側に抜ける道の整備というものはしなくてはいけないと思っておりますが、これも全体の状況を見ながら考えていきたいと思っております。

久世孝宏議員：いろんな所での説明もあったと思いますが、確認で教えてください。この計画を建てた会社がどこかというところと、当初の活用のところだけでよいのですが、総額、お金をいくらくらい現時点で見込んでいるのか。

堀寄敬雄企画部長：もともとの原図は安井建築設計が緊急雇用の事業でこの事業を受けていますので、それが基になっております。それを市民の皆さんを交えた検討委員会で揉んでいただいたもので、最終的な図柄を作っております。費用につ

きましては、まだ概算でしか出ていない状況ですが、建物側で恐らく8億円くらい、外の状況、例えば民間施設を作るか作らないかや駐車場の設け方で少し費用が変わってきますので、今の段階で恐らく4～5億円という見方をしております。数字がはっきりし次第、ご報告させていただきます。

久世孝宏議員：まず、基の絵を描いたのが、安井建築設計と市民の人達が考えた案という事だと心配するのが、本当にこれが目的というか、プロの目が入っているのか、入っていないのか。安井建築設計が描いている絵で、その人達が郷土産業史を語るようなコンセプトの物というように絵が描けていたのか心配なので、その辺りの担保というか、コメントが欲しいです。もうひとつは、お金の話というのは、パブリックコメントを募集するにあたって、お金は切っても切れない部分がある。かければかけるほど良い物が出来ていく中で、市民の方に判断をしていただくにも、概算でも良いので、一緒に示すべきだと思いますが、その辺りのコメントをお願いします。

堀寄敬雄企画部長：全体計画は、安井建築設計がやっております。私も同じ点が少し心配なポイントではありましたが、安井建築設計の中に都市計画、こういった街づくりの専門の方もお見えになって、この全体の敷地利用については、専門の方のお知恵をいただいております。安井建築設計が野村工芸社という上場している建築設計専門の会社に委託をしておりますので、プロの方のアドバイスをいただいている形になっております。あと、概算の金額につきましては、我々も必要な所だと思っておりますので、超概算になるかも知れませんが、パブリックコメントをする際には、少し数字を入れたいと思います。

中川健一議員：安井建築設計の設計図がいくらだったかが1点目。もうひとつ8億円くらいかけてやる事ですが、これは耐震補強が中心だと思いますが、耐震構造を1.0で出してやっているのかということところです。最近、京都市などでは、レンガ建物とかブロック塀については、1.0ではなくても保存するために費用をかけずにやるという事で下げてでもやれるような条例を作り始めているものから、半田もそういう工夫が出来れば、もう少し安く出来るのではと思ったからです。3点目に地元の自治区とは具体的にどういう話をしてきたかについて教えていただければと思います。

堀寄敬雄企画部長：安井建築設計との設計料につきましては、きちっとした金額ではありませんが、2,800万円くらいだったと、これは議会でご議決もいただいている金額であります。それから、耐震のところ何んですが、今回の赤レンガ建物の耐震の考え方は、IS値0.6というものを目標値としております。一般の木造建築物の耐震の話になりますと、目標値が1.0という数値が出てきますが、この一般木造建築物の1.0というものと冒頭言いましたこの建物で目指しているIS値の0.6というものは、同じレベルの強度。木造建築物とレンガ構造物によって表現の仕方が違うものだというふうに安井の方からはお聞きしております。最後に自治区のお話ですが、先ほど申し上げた検討委員会の中に自治区の代表の方も加わっていただいておりますので、自治区の意見もお聞きしていると思っております。

## 2 衣浦臨海鉄道（株）経営状況について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

中川健一議員：貸借対照表を見ると、利益剰余金がマイナス1億6千7百万円余りありますが、これは何年くらいで無くしていくのか、そういう計画があるのか無いのか教えていただければと思います。

堀寄敬雄企画部長：申し訳ありません。その点については、把握出来ておりませんので、一度、衣浦臨海鉄道に確認しご返答したいと思います。

### [その他]

#### ・ 半田市クリーンセンター最終処分場建設用地の経過について

折戸富和環境監：5月に半田市都市開発公社から買い戻しました半田市クリーンセンター最終処分場建設用地につきましては、太陽光パネルを設置し、用地の有効活用を図るとして検討を進めているところですが、その経過について口頭ではありますが、ご報告させていただきます。最終処分場建設用地のうち、平成49年度に最終処分場としての工事を開始予定しております約17,800平方メートルについて、太陽光パネルの設置を計画しております。パネルの設置にあたっては、用地の土地貸し及びパネルのリースによる売電事業の2通りの方法を比較検討し、売電事業の方法で準備を進めています。発電設備の容量は約1メガを予定しております。年度内の契約であれば、今年の売電価格である37.8円で売電出来るため、9月の議会に向けての準備を進めているところであります。以上、経過についての報告といたします。